

平成 29 年度 第 1 回三条市地域公共交通協議会議事録

- 1 開催日時 平成 29 年 5 月 25 日（木）午後 2 時～午後 3 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所三条庁舎 4 階 全員協議会室
- 3 出席委員 松本昌二副会長、吉原康幸、知野太樹（古田哲代理）、高橋清吉、平出宏征（渡邊博幸代理）、五十嵐知己（宮野岳代理）、大山強一、浅野吉信（中山真代理）、土田勲（齊藤正栄代理）、五十嵐七男夫、佐藤秀樹、高橋智彦、小松美保子、田邊正樹（齋藤光雄代理）、更科明大、佐々健、金子信幸、佐藤春男、近藤晴美、長谷川正実（以上 20 名）
（欠席委員 國定勇人会長、前川幸子、佐藤三郎、梨木建夫、鳶田眞六、栗山貴行）
- 4 市出席者 事務局 渡辺事務局長（市民部長）、小林次長（環境課長）、五十嵐次長補佐（環境課長補佐）、長田（生活安全・交通係長）、遠山（主任）
- 5 傍聴者 村井容江、中井希、羽賀文範、上野義生、五十嵐康一
- 6 会議概要
 - (1) 開 会
 - (2) 議 事

ア 報告

 - (ア) 公共交通利用状況について
事務局から資料No.1 により報告後、質疑に入る。
小松委員：P8「5 集計結果の考察と今後の改善策」の高校生通学ライナーの記載について、平成 28 年度の事業評価では、対象中学校の卒業生に対しチラシを配布し、周知等を図ると記載されているが、実施したのか。
事務局：例年どおり実施した。
 - (イ) 公共交通アンケート調査結果について
事務局から資料No.2 により報告後、質疑（質疑なし）
 - (ウ) デマンド交通おでかけパスについて
事務局から資料No.3 により報告後、質疑
高橋（智）委員：おでかけパス発行枚数の目標値はどれくらいか。
事務局：予算上は歳入減の影響が出ないように 200 枚としているが、目標としては 500 枚に設定している。
松本委員：周知が必要ではないか。
事務局：高齢者の集まりへ出向くなど、周知に努めたい。
高橋（清）委員：資料No.2 の P 4「1. ひめさゆりお客様アンケート」について、利用満足度調査での不満の理由として、「運賃が

高いから」が挙がっているが、おでかけパスの申込料金が、それとも利用料金が、どちらについての不満か。

事務局：利用料金についてのもので認識している。おでかけパスにより、複数乗車時の利用料金割引が受けられるため、更なる利用促進、満足度向上に努めたい。

松本委員：一人乗車に対しては、何か実施しているか。

事務局：車内で一人乗車の方におでかけパスを周知していただくなど、事業者にも協力を依頼したい。

イ 議題

- (ア) 平成 28 年度三条市地域公共交通協議会歳入歳出決算について事務局から資料No. 4 による説明及び金子監査委員の監査報告後、質疑（質疑なし）

続いて議長から諮り、全員異議なく承認

- (イ) 平成 29 年度三条市地域公共交通協議会歳入歳出予算（案）について事務局から資料No. 5 による説明後、質疑（質疑なし）

続いて議長から諮り、全員異議なく承認

- (ウ) 高校生通学ライナーバスのルート変更（案）について

事務局から資料No. 6 による説明後、質疑

田邊委員：この経路変更によって利用が増えるかどうかは検証しているのか。

事務局：この変更によって利用が増えるかどうかは検証できていないが、運行時間が短縮されることで、利便性の向上が図れることを主な目的としている。

基本的にライナーバスは、JR を利用する高校生が通学のために利用している。今後、更なる利便性の向上のため、必要に応じて高等学校の先生へのヒアリングを通じ、最適な運行となるよう検討していきたい。

続いて議長から諮り、全員異議なく承認

- (エ) 平成 30 年度生活交通確保維持改善計画（案）について

事務局から資料No. 7 による説明後、質疑

松本委員：補助金交付要綱等の改正について、お聞かせいただきたい。

小松委員：補助金交付要綱等の改正通知が遅くなっており、大変御迷惑をお掛けしている。改正の概要は、別紙「平成 30 年度事業地域内フィーダー系統補助制度の見直し【概要】」資料のとおりである。大きな変更として、本日の計画に、別紙「平成 30 年度 三条市生活交通確保維持改善計画 追加変更事項及び内容」にある、「追加」と「変更」が項目

及び内容として反映され、また、変更後の様式で提出することとなる。

佐藤(春) 類：平成 20 年頃の社会実験開始から、10 年くらい経過することとなる。公共交通は、家族の送迎等があり潜在ニーズはあるが、それと上手くマッチングさせることが必要であると思う。また、マルシェや高齢者の集まり等で更なる周知を行い、実際に使ってもらうことが必要であると思う。

事務局：高齢者の集まりに出向くなど、足で稼いで、潜在ニーズを掘り起こしたい。

以上の質疑後、本日審議の計画については、現行の様式等に基づき作成しており、要綱等改正による記載事項変更等が必要な場合、北陸信越運輸局や同新潟運輸支局から指導をいただき、追加修正の上、提出することを含み置きいただいた上で、全員異議なく承認

ウ 事務連絡

事務局長：昨年度実施したデマンド交通の土日運行について、今年度も 10 月に実証実験を行う予定で考えている。実験の詳細や検証結果を委員にお示しする中で、意見等を頂戴し、今後の土日運行の方向性について検討したい。

(3) 閉 会